

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミⅡ	チーム名	広告 Boys
タイトル	ネット広告がもたらす経済効果		
テーマ群	e) 産業・企業		
メンバー	高木悠人 松尾優希 中渕竜吾 土井清堯 西田恭平 本城雅也 平山裕也 藤原亮介 芝田颯真 高橋正悟		
研究計画内容	<p>今日、スマートフォンの普及でインターネットがより身近な存在となっています。ネットやアプリを利用する際、広告が邪魔でイライラするなんて経験があるのではないのでしょうか。このようにマイナスの影響を与えるネット上の広告には、本当に効果があるのかどうかをあらゆる視点から調べてみました。</p> <p>広告業界は今まで、マスコミ四媒体と呼ばれる、新聞、ラジオ、雑誌、テレビがほとんどを占めていました。しかし現在では、ネット広告がマスコミ四媒体広告のうちテレビを除いた三媒体を抜かすほど伸びてきています。その理由として、以下の3つの理由が挙げられます。1つ目に、マスコミ4媒体に比べると費用が安いこと。2つ目に、手軽に広告掲載が可能であること。3つ目に、パソコンおよびインターネットが普及していることが挙げられ、例として Twitter があげられます。 Twitter は現在、収入のほとんどが広告による収入です。 Twitter の国内ユーザー数はおよそ 1980 万人で主に 10 代から 20 代がよく利用する SNS であり、ターゲットをそこに絞った商品やサービスなどの広告を打つことによって大きな利益をあげています。海外の例としては、ネット先進国であるアメリカの主要の広告媒体は、2012 年から 2013 年にかけて TVCM からネット広告へと移行していきました。このことを踏まえた上で、日本でも今後ネット広告が TVCM を追い越す時代が訪れると考えられます。それで、私たちはいつ追い越すことができるかを予想します。この発表で、ネット広告についての知識が深まればいいと思います。</p>		